

2018年11月8日

日本ガス協会は、一般社団法人燃料電池開発情報センター主催の平成29年度の顕彰制度において、エネファーム発展に寄与した顕著な功績が高く評価され、「産業貢献賞」を受賞いたしました。

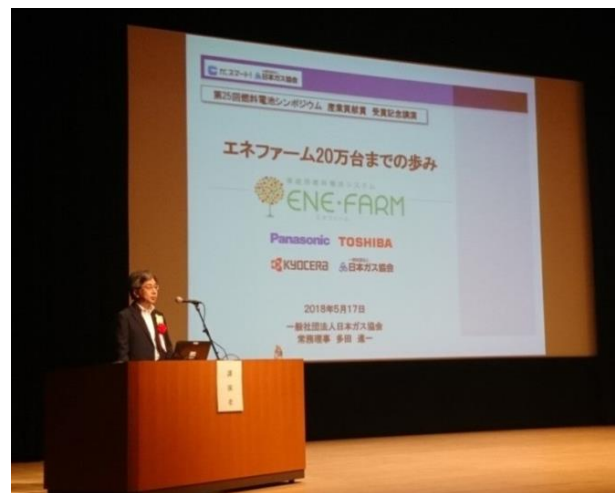
一般社団法人 日本ガス協会

一般社団法人日本ガス協会（会長：広瀬道明、以下「日本ガス協会」）は、一般社団法人燃料電池開発情報センター（以下、「FCDIC」）主催の平成29年度の顕彰制度において、パナソニック株式会社、東芝燃料電池システム株式会社、京セラ株式会社と共に、「エネファーム発展に寄与した施策と技術開発」に対して、産業貢献賞を受賞しました。これは、これまでの家庭用燃料電池エネファームの発展に寄与した顕著な功績が高く評価されたものです。本受賞を記念し、FCDIC主催の第25回燃料電池シンポジウムでは、受賞した4者を代表して日本ガス協会が講演をしました。また、FCDIC発行の機関誌「燃料電池 Vol.18 No.1 夏号」において、「エネファーム20万台までの歩み－日本ガス協会の取り組み」と題して、寄稿しています。

国の「水素・燃料電池戦略ロードマップ」、「水素基本戦略」、「第5次エネルギー基本計画」においては、「エネファームについて、2030年に530万台を普及させる」という目標が掲げられており、3E+Sを基本とする日本のエネルギー政策において、今後もエネファームに寄せられる期待はますます大きくなると考えています。日本ガス協会は引き続き、関係者一丸となって様々な課題の解決を図りながら、エネファームのさらなる普及により、日本のエネルギー、環境面での課題解決に貢献していきたいと考えております。



<表彰式の様子>



<受賞記念講演の様子>

以上

担当：天然ガス普及ユニット 水素技術開発グループ  
今井・伊東  
TEL：03-3502-0113

<参考>

【産業貢献賞】

- ・ 業績題目：エネファーム発展に寄与した施策と技術開発
- ・ 受賞対象機関：
  - （正会員）一般社団法人 日本ガス協会
  - （正会員）パナソニック株式会社
  - （正会員）東芝燃料電池システム株式会社
  - （正会員）京セラ株式会社

【第 25 回燃料電池シンポジウム】

- ・ 日程：平成 30 年 5 月 17 日(木)～5 月 18 日(金)
- ・ FCDIC 顕彰制度表彰式：5 月 17 日（木）
- ・ 会場：タワーホール船堀（東京都江戸川区）
- ・ U R L : <https://www.fcdic.com/2017/10/2580/>

【燃料電池 Vol.18 No.1 夏号（平成 30 年 7 月 30 日発行）】

- ・ 寄稿：「エネファーム 20 万台までの歩み - 日本ガス協会の取り組み」  
（一社）日本ガス協会 常務理事 多田 進一
- ・ U R L : <https://www.fcdic.com/pdf/kikanshi/VOL18-1J.pdf>

（他の受賞者の記念寄稿）

- ・ 燃料電池 Vol.18 No.1 夏号（平成 30 年 7 月 30 日発行）  
エネファームの発展に寄与した施策と技術開発  
東芝燃料電池システム(株) 燃料電池設計部 電池開発担当 干鯛 将一  
家庭用燃料電池事業におけるパナソニックの挑戦と産業貢献  
パナソニック(株) アプライアンス社 スマートエネルギーシステム事業部 経営企画部
- ・ 燃料電池 Vol.19 No.2 秋号（平成 30 年 10 月 30 日発行）  
京セラにおける固体酸化物形燃料電池セルスタックの開発と量産化  
京セラ(株) 研究開発本部 部品研究開発統括部 仲川 彰一